

学期末プレゼンテーションとレポートについてのお知らせ

- 最新の案内はブログで確認 <http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer-education/0105/>
- レポートの提出・足りない資料の請求は多文化コミュニティ教育支援室（206室）まで
- 問い合わせは授業代表青山亨（633室）まで

1. ねらい

- 2学期の多言語・多文化社会論入門は、「日本に暮らす外国人」（生活者としての外国人）という基本テーマに基づく講義をおこないます。これらの講義を受講したうえで、外国人が日本で生活していくうえでどのような解決すべき課題があるのかを、考えてもらいます。
- ただし、単に課題を提示するだけではなく、どうしてそのような課題が出てくるのか、その背景について現状の分析をおこなってください。
- そのための出発点として、配布してある『多言語・多文化ブックレット』第3号（外国とつながりのある子どもたち—多言語・多文化化する教室と心理臨床の現場から—）と第4号（異言語・異文化の中で暮らす—情報流通と法律相談の現場から—）および、講義用リーディングス（近田由紀子、KPの歌詞、野山広、竹原茂）をよく読み、その中から課題の背景にある現状をつかみ取ってください。もちろん、これらの資料だけでは不十分なところは、さらに広く調査して、情報を集めてください。

2. 中間発表レポート

- 12月に、中間発表として、課題と現状分析について2種類のレポートを提出してもらいます。グループ・レポートに対しては、教員がコメントをつけて、冬休み明けに返却します。グループ・レポートとコメントをもとに、学期末のグループ・プレゼンテーションを準備してください。レポートの作成は以下の手順でおこなってください。
- 1. 個人でレポートを作成し提出（12月14日金曜日締め切り）。206に提出。A4判2枚。自分用のコピーを取っておくこと。
- 2. 個人レポートを持ち寄って、グループで議論し、グループ・レポート案を取りまとめる
- 3. レポート案をグループで再検討し、最終版を提出（12月21日金曜日締め切り）。206に提出。A4判2~3枚。コピーをメンバー全員に配布しておくこと。
- 個人レポートの提出は個人の責任で、グループ・レポートの提出はグループ・リーダーが責任をもっておこなってください。

3. グループ・プレゼンテーション

- 学期末に、レポートでまとめられた課題およびその背景となる現状分析をもとにして、課題に対する対応策を考え、グループごとにプレゼンテーションをおこなってもらいます。プレゼンテーションのテーマは、次の二つの中からいずれかを選んでください。
- 1. 一人の市民として、行政や学校に対して、対応策の提言をおこなう。（情報・サービスをどのように必要とする人にまで届けるのか、という流通の過程にも配慮すること。）
- 2. 自分自身（一個人、一大学生）として、何をするのか・何ができるのかを発表する。
- プレゼンテーションは、1月22日と29日の2回、各グループ10分間とし、パワーポイントの使用を認めます。あらかじめUSBメモリにファイルを入れて提出してください。

4. 評価

- プレゼンテーションは、課題と対応策がテーマに即しているか、発表が説得的かつ論理的に展開されているか、円滑で効果的なプレゼンテーションがなされているか、などの観点から教員が評価します。
- 各グループのプレゼンテーションの評価点は、グループの各メンバーに配分します。これに平常点（コメントシートの提出とコメントの内容）および個人レポートの点を合算したものが、各受講生の2学期の総合評価となります。